令和５年度坂井高等学校マイスター・ハイスクール事業企画研究発表会

令和5年12月16日（土）

コース	タイトル	発表要旨
農業	サスティナブルな農業からサスティナブルな未来構築へ ～地域の絶滅危惧種保全活動を通して～	最近の農業は、おいしいや作りやすいに加えて環境にやさしいというテーマが重要になっている。新しい生物多様性を考えたサスティナブルな農業を行う1つの方法として絶滅危惧種の保全活動に着目し、坂井高校がある坂井市の2つの絶滅危惧種の保全活動をSDGｓ活動にも位置づけ、サスティナブルな未来構築を目指していく。
食品	もったいないを美味しいへ ～地域と繋がる食品ロス低減プロジェクト～	坂井市兵庫地区まちづくり協議会より、「廃棄されてしまう酒粕を有効活用したスイーツ開発」の依頼を受け、活動を開始した。 継続的な商品化に繋げながら、今年度は「お酒が苦手な人でも美味しく食べられる商品」を目指して取り組み、坂高マルシェや地域イベントで開発商品を販売し、食品ロスの現状を伝えるとともに、食品ロスの低減に繋げることができた。「もったいない」をなくすため、これからも地元からこの活動を広げていく。
機械	焼き印の製作 ～被削材と商品の特性を考慮した金属切削加工～	機械コースの継続課題研究として「焼き印班」があり、今年は、「越前寄木の田邉様」、「一般社団法人EKIMAEMALL様、村中甘泉堂様」からご依頼いただき、それぞれの商品の価値の魅力づくりに取り組んだ。
自動車	中型バイクのオーバーホール ～不動から実動へ～	学科を通して地域企業に協力を頂き、「Netzトヨタ福井」・「福井日野自動車」による特別講習やグローバル研修で得た経験から、バイクの整備を選択し、不動車のバイクを実動車となるように修理した。 （車体は、坂井高校自転車部で旧伴走車として活躍したものである。）
電気	温泉熱の利活用 ～地域と校内コースの特色を活かした持続可能な取り組み～	あわら温泉の施設である「芦湯」の源泉から湧き出る温泉の一部が何にも利用されることなく捨てられていることに着目した。 地域と校内コースの連携と特色を活かした持続可能な取り組みになるよう専門分野である「発電」の他に「農作物の栽培」、「工芸」等の地域振興につながる分野の提案と取り組みをしてきた。
情報システム	未来のあわら温泉 ～スマホ片手に温泉街を周遊～	あわら温泉では立派な温泉旅館に宿泊することで観光が完結している。連携した芦原温泉旅館協同組合からは温泉街を周遊してほしいという要望があった。そこで、宿泊客が旅館の外でも周遊観光ができるサービスを考えた。 アプリ開発企業との連携やあわら市観光振興課のアドバイスなどもあり、あわら温泉AR周遊アプリを開発した。 『未来のあわら温泉』について発表する。
ビジネス	学科連携と公開講座による地域振興	今年度、学科連携講座では農業コース、機械コース、自動車コースと連携した取り組みを行った。公開講座では地域の方に向けてスマートフォンアプリの講座を行った。 それぞれ、これまでにビジネスコースで学んだことを生かして、どのように地域振興に協力できるか試行錯誤しながら取り組んでいる。
生活デザイン	地域の食材を活用したレシピ開発	坂井市役所と連携して地域の食材を活用したレシピ開発を行っている。令和３年度にブランド化された「ふくい甘えび」を題材として、これまで３年間試作・改良を重ねて様々なレシピを考えてきた。 各年ごとに市役所や三国港市場で試食会も開催し、これから地域に親しまれる料理ができあがることを目標に取り組んでいる。
デュアルシステム実践報告		デュアルシステムとは、ドイツを発祥とする「教育」と「職業訓練」を同時に進めるシステムである。 本校では、坂井高校版として毎週水曜日に企業で丸一日、年間２０日間実習を行い、学校での学習をさらに深めている。